



No.2 2006.3.24発行  
小林たくお後援会  
TEL.0533-93-3622

「今日、この議場に立てるのも旧一宮町の一人ひとりの熱い思いがあつてのことと強く感じております」

本会議場で初めての、私の言葉でした。

3月定例会議が開かれ、私は、旧一宮町選出議員のトップを切つて、一般質問に臨みました。選挙後、すぐに、議会が始まり本会議、予算・各委員会など議題が山積していましたが、旧一宮町と方法が違ふ、勝手が違ふなど、とまどいの日々が続きました。しかし、旧一宮町の町民の声を反映するという重い責任を自覚し、この議会を乗り越えてきました。任期が1年2ヶ月しかないわけですから、人の2倍・3倍頑張らなくてはならないと、決意しています。

今後は、今年の予算が如何に配分され、豊川市との格差整備の是正がどれだけ出来るか、新豊川市民のため何が出来るか考え実行することが、私の責務であると考えています。短い期間ですが、皆さんに行政の方向、考えをお伝えし、皆さんのご意見を行政に伝えることが私の責務であると考え活動をしていきたいと思ひます。是非、皆様のご意見をいただきたいと思ひます。

### 新豊川市総額予算389億3千万円

#### 普通建設事業一宮分査定状況 (主なもの)

大木土地区画整理組合補助金	>.....13,625千円
大木土地区画整理事業負担金	
公共施設案内標識整備事業	.....15,000千円
手取山散策広場整備事業	.....134,737千円
消防一宮出張所整備費	.....193,454千円
高規格救急車	.....33,000千円
防災倉庫設置工事費	.....5,460千円

豊川分 予算額	38億9231万円 (79.4%)
一宮分 予算額	10億1123万円 (20.6%)
合計 予算額	49億 355万円 (100%)

照明灯	160基 (一宮)・100基 (豊川)
カーブミラー	20基 (一宮)・60基 (豊川)
小学校6年生	三河国分尼寺見学
小学校5年生	きららの里見学
小学校4年生	プラネタリウム見学
新産業拠点区	20ヘクタール調査.....1,500万円

### 豊川市議会議員名簿

- 【信政会】 山脇 実・松井忠雄・近田富王・川上陽子・坂本松次郎
- 兼佐 誠・高橋智之・野中泰志・大倉 淳・西川米子・今泉淳乙
- 【新風会】 鈴木智彦・滝下充生・清水春男・石畔八良・大野義彦・中村直巳
- 鈴木彰伯・藤原智彦・小林たくお・美馬ゆきえ
- 【公明党市議団】 永井信義・波多野年・井上和也
- 【豊清会】 石黒規吉・鈴木義章・米谷俊子
- 【市民クラブ】 平松保則・牧田千枝子
- 【日本共産党】 佐藤郁恵・安間寛子

※は旧一宮町選出議員

豊川市議会・第一回定例会議一般質問において「小林たくお」は次のような質問を致しました。

#### ◎一宮地区内建設整備について

- 問** 大木区画整備事業の今後の方向性は？
- 答** 市としては、当事業は組合で行われる為、資金面での援助を行う。事業認可後48億6千万円を精査したところ、当初計画の差があることが判明したが、今後組合とも協力しながら、全力をあげ、期間内の完成に努力したい。
- 問** 東三河環状線の進捗状況は？
- 答** 大崎工区の開通を待たずに早期着手出来るように要望を行っている。三蔵子・一宮工区(約1.5km)は四ツ家交差点改良も含め用地取得が進めば、先行することも可能です。
- 問** 県道三蔵子・一宮線の歩道設置は？
- 答** 歩道設置については通学路であり、事業可能な路線と考えている。
- 問** 本宮の湯を中心とする手取山公園の今後の整備は？
- 答** 計画区域を、手取山と東上球場を含む約7ヘクタールを予定し、整備事業は「まちづくり交付金」制度を活用し、整備目標は平成18年より5年間で。

#### ◎安心・安全のまちづくり

- 問** 合併により、救急車・消防車の配備の見直しは？
- 答** 合併以前は、一宮町への救急車・消防車到着は約8〜10分要していた。旧役場内に分署を整備すると、平均5分で到着し、旧一宮町全体をカバーでき見直しを行う。
- 問** 道路照明灯の整備は？
- 答** (現在旧豊川市1852基・旧一宮町13基)
- 問** 通学路及び幹線道路を優先的に実施する。不足の目立つ旧一宮地区には、勢力的に対処する。
- 問** 防犯ボランティアの組織づくりについての方向性は？
- 答** 地域組織や小中学校を通じて情報提供し、自立的なボランティアの支援をしていく。

#### ◎中野市長の約束

- 問** 市長は、合併説明会で住民の疑問や要望に真剣に受け答えされた姿に賛成票を投じた一宮町民も多いたが、今後の行政運営でどう期待に答えていくのか。
- 答** 新総合計画案、新年度予算案には、一宮町地区に関する事業を積極的に位置づけさせていただきました。「合併をすれば、一宮地区住民も同じ市民だから、遅れている基盤整備に重点投資をし、新市一体性のあるまちづくりを行うことは、当たり前のこと」と考えています。